

あさがお

広報紙『あさがお』第4号 平成30年10月1日発行
 社会福祉法人 名張厚生協会 名張養護学園
 〒518-0721 三重県名張市朝日町 1263-3
 Tel.0595-63-0717 Fax0595-63-0721

「藍染体験教室」

手紙のやり取りから、藍染体験教室が実現！

藍の種を送ってくれた事がきっかけで、学園で栽培した藍も用いて藍染しました。

藍の葉は鮮度が一番！
 摘みたての葉をミキサーにかけ、みどり色のしぼり汁に白い布をつけ込みジャブジャブ。しばらくしてから、水で洗い流すと、なんと藍色に変身。

特別講師の坂田さんは、学生時代に当園の存在を知ったことをきっかけに、以来長きに渡り、当施設と関わりを持ち続けてくれているサポーターさんです。



巻頭言

施設長

山口 伴尚



現在の入所児童数

本園 28名
 ／定員 30名
 地域小規模「若葉」
 5名
 ／定員 6名

今夏は記録的な猛暑でした。また、集中豪雨や地震、相次ぐ台風など、各地で大きな災害が頻発しました。被災地の皆さまの一日も早い生活再建と復興をお祈りするものです。幸い名張は大きな被害がありませんでしたが、改めて日頃の備えの重要性を再認識しました。引き続き安心・安全な暮らしを確保するため努力を重ねたいと思います。

実りの秋を迎え、学校では、運動会や文化祭、修学旅行などの楽しい行事が続きます。この時期、高校三年生は、残された高校生活を送りながら、卒業後の進路や生活を決定しなければなりません。就職を選択した生徒は既に会社の内定が決まりましたが、進学を目指す生徒は、偏差値を横目に勉強に頑張っています。何れの進路を選択した生徒にも、卒園後は、厳しい現実が待っています。社会の中で自立して生活できるよう、調理や洗濯などの家事、銀行や役所の手続き等が円滑に行えるよう生活訓練を計画的に進めるなど、未来に羽ばたく日に備えることにしています。

キャンプ便り

幼児・小学生

『休暇村近江八幡 キャンプ場』

7月30日～31日



『あっ！海見えた』、見えたのは海でなく“琵琶湖”でした。急がば回れの語源でもある琵琶湖。その大きさを、肌で感じようと休暇村近江八幡でキャンプを行いました。初日は遊覧船で湖上を約一時間ゆられ改めて広大さを実感。穏やかで澄んだ湖を各々泳いだり、小魚の群れを追いかけたりと楽しみました。朝夕は真夏とは思えないほど気温が下がり、テントの中も快適でした。2日目も朝早くから目覚めた子どもたちで虫取り、湖畔の散歩と活発な活動が繰り広げられました。

中・高生

『孫太郎オートキャンプ場』

8月6日～7日



「シーカヤックをもう一度したい！」
中高生は紀伊長島へ！ 昨年も同キャンプ場へ行きましたが、今年は海も空も青い晴天の下、カヤックで海上散歩ができました。インストラクターの指導を受けながら、グイグイと推進力を得て、岸から結構離れた所まで行けました。

テント張りから、火越しや食事の準備と、協力し合う微笑ましい姿も随所がありました。



恒例行事

『第4回がくえんまつり』

8月25日(土)

11:00～15:00

～未来につなげる～

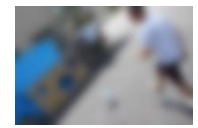
地域との関係が、顔の見えるつながりへ！



今年も8月最終週に「第4回がくえんまつり」を開催。

子どもたちにとっては夏休み最後のお楽しみ、学園と地域の交流が図れる場、卒園生が気安く立ち寄れる機会として、当日は総勢150数名が集まってくれました。

「子どもの笑顔」が溢れる時間の提供をモットーに、焼きそば・焼きとうもろこし・から揚げ棒・かき氷といった食べ物屋台、縁日風情の射的・宝釣り・キックターゲット・手裏剣道場、室内ではパターゴルフ・簡単工作等々いろんな催しを企画しました。バルーンパフォーマーMAYさんの大道芸もあり、大いに盛り上がりを見せました。最後は子どもたちの夢を託したバルーンを大空に放ち終了となりました。参加いただいたみなさんありがとうございました。



ほっとニュース

『九九バトル』

夏休み中、
みんなで楽しく九九学習！

九九計算プリントをした枚数に応じたポイントをゲットして、ゴールを目指せ！



地域交流

『ご近所探検隊』

9月22日(土)
朝日ファスナー(株)へ
工場見学

あの会社、何を作っているの？
実際に見学して何の会社か
学んできました！

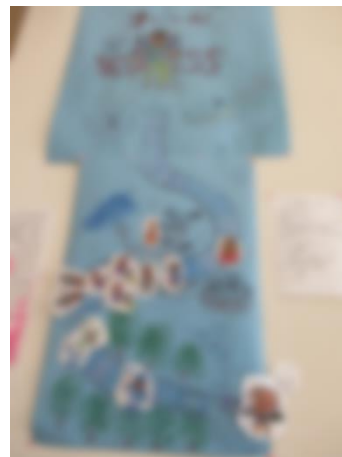


長い夏休みを利用して、何か楽しく学習に取り組める事はないかなー？得意な子は更に早く正確に、苦手意識のある子は克服できるようにと、九九に取り組みました。

取組んだ枚数に応じてポイントを獲得し、職員が扮するモンスターとジャンケンや駒回し、棒たて競争などで競い双六の要領で駒を進めてゴールを目指します。九九学習以上に職員とバトルすることが楽しかったようです。

6・7・8の段に苦手意識のある子が多く苦戦していましたが、夏休み中にクリアできていました。

クリアできたご褒美に、テレビゲーム大会が、やや時間が経ちましたが、10月に開催される予定です。お菓子の掴み取りもあるよ！
(#^.^#)イエーイ！



朝日町で1953年創業の朝日ファスナー(株)。普段から従業員の皆さんは子どもたちを温かく見守り、挨拶を交わしてくれる方々。「子どもたちに様々な職場と、そこで働く人達を知ることから、将来の就労や自立を考えるきっかけづくりが出来ないか」と社長さんに相談したところ、工場見学を快諾していただきました。

日常生活にチャック(ファスナー)が当たり前のアイテムになっている中で、他にないオリジナル性を発揮していく努力や、社会人として仕事をしていく上で「挨拶」が大切であることなど福本社長からお話をいただきました。工場内を見学し、製造過程の説明を受け、その後は従業員さんに学園に足を運んでいただき、仕事上の体験談を話してもらいました。昼食を一緒にし、学園の事も知ってもらうクイズ大会で交流も図りました。モノづくりの現場を体験する貴重な時間となりました。

**地域の身近な
相談窓口**

児童家庭支援センター
「あかり」
でんわ (0595)
42-8331

- 子育てのこと、
家庭のこと・・・
○ 一人で悩まないで
一緒に考えて
いきませんか

※4月1日より「あかり」に名称を変更しています。

たくさんのご支援・ご寄附・ご寄贈

ありがとうございました♪

《個人》

堀内茂 大井 齋藤美穂 山森理宏 奥昭徳 西口成貴
坂田陽子 宇治 繁田久治 菊岡理沙 匿名

《団体》

キング観光 フードビジネス経営研究所 五十寿学級
なかの洋品店 朝日ファスナー(株) 辰巳織布(株)
平成観光 堀井内科 マックスバリュ中部労働組合
チュチュアンナ

※平成30年7月1日～9月30日

順不同・敬称は省略させていただいております。

= 法人の理念 =

社会福祉法人 名張厚生協会は「人としての尊厳」を尊重し、事業を利用する方々が、社会的・経済的・精神的に「自立した生活をおくること」、社会の一員として「より人間らしく豊かに生きること」、そして「生きがいをもって生きること」ができるよう、法人が築き上げてきた知識、技術、倫理、社会性を発揮し支援します。また、安心して適切な福祉サービスの提供と効率的な経営を行い、地域福祉の向上に貢献します。

= 名張養護学園の理念 =

「すべての人を尊重し、
児童の最善の利益を守り、
より積極的に支える」

= 基本目標 =

未来に羽ばたく夢と力を育む
笑顔あふれる暮らし



編集後記

これなんだかわかります？進歩したAI技術による手相占いではありませんよ（笑）。

手洗いチェッカーという、手洗い後に残ったバイ菌を確認する機械です。心も清く、ひまわりのように真っ直ぐな成長を支えていきたいと思う今日この頃です。

